

令和2年度(2020年度)

病虫害発生予察情報 第7号

注意報第3号

北海道病虫害防除所 令和2年(2020年)6月18日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoh/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

たまねぎのネギアザミウマが前年に続き多発の兆候 効果の高い薬剤で直ちに防除を開始しましょう！

長沼町および訓子府町のたまねぎ予察ほ場において、平年よりやや早い6月1半旬にネギアザミウマの成虫初発が確認されました。6月2、3半旬には成虫寄生密度および寄生株率も高まっています。幼虫寄生はいずれの地点とも6月2半旬に確認されています。6月11日発表の1ヶ月予報および6月17日時点での2週間気温予報によると、今後、気温は平年並に推移する見込みですが、すでに寄生株率が高く、幼虫も確認されているため、急激に寄生密度が上昇するおそれがあります。

薬剤防除開始の目安は、ほ場を観察してほぼ全ての株にわずかな食害が認められた状態ですが、すでに防除が必要な食害状況に達しているほ場も多くなっていると考えられます。そのようなほ場では直ちに防除を開始しましょう。

また、近年道内の広い範囲においてピレスロイド剤に対する抵抗性のネギアザミウマが確認されているので、薬剤選択の際は注意してください。

1. 発生地域 全道
2. 発生時期 やや早（既発）
3. 予想される発生程度 多

4. 注意報発令の根拠

- (1) 長沼町および訓子府町の無防除のたまねぎ予察ほ場において、6月3半旬の寄生株率が平年より高く（表1）、幼虫初発も平年よりやや早い6月2半旬であった（長沼町平年：6月3半旬、訓子府町平年：6月4半旬）。また、長沼町の成虫寄生密度は、記録的な多発年であった前年を上回っている（表1、図1）。
- (2) 5月下旬以降6月中旬まで、気温は高く、オホーツク海側を除くたまねぎ産地では少雨傾向であり、ネギアザミウマの増殖に好適な条件が続いている。
- (3) 6月11日発表の気象予報（付記：1ヶ月予報）および6月17日時点での2週間気温予報によると、今後の気象は、気温、降水量ともに平年並と予報されていることから、発生量は平年より多い状態が続くものと予想され、寄生密度が急激に上昇するおそれがある。

5. 防除対策

- (1) ほぼすべての株にわずかな食害が認められたら、直ちに薬剤防除を開始する。
- (2) 1回目の薬剤散布には、効果の高い薬剤（プロチオホス乳剤、スピネトラム水和剤F（2500倍）、フロメトキン水和剤F）を使用し、以降10日間隔で薬剤散布を実施する。また、フルキサメタミド乳剤（2000～3000倍）も、たまねぎのネギアザミウマに対しプロチオホス乳剤およびスピネトラム水和剤Fと同等の効果が確認されている。
- (3) 散布後の防除効果を確認し、効果が劣る場合は異なる系統の薬剤散布を行い、その系統の薬剤の使用は避ける。また、同一系統の薬剤を連用、多用しない。
- (4) 散布回数が増える場合は、被害抑制効果の期待できる薬剤（アセフェート水和剤、イミダクロプリド水和剤DF、スピネトラム水和剤F（5000倍）、チオシクラム水和剤DF）も使用できる。ただし、本種の密度が急激に上昇する条件下ではこれらの薬剤の使用を避ける。

表1. たまねぎ予察ほでのネギアザミウマ発生状況

月半旬	長沼町											
	寄生虫数						食害程度			寄生株率 (%)		
	成虫			幼虫			本年	前年	平年	本年	前年	平年
	本年	前年	平年	本年	前年	平年						
5.V	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
VI	0	7	0.0	0	0	0.0	0	2.5	0.0	0	24	0.1
6.I	0.5	22.5	0.7	0	0	0.1	0	13	0.1	2	70	2.9
II	10	37	1.9	0.5	15.5	0.1	5	29.5	1.5	38	70	7.3
III	60.5	44	2.7	27	80	0.7	22	35	2.4	82	96	10.1
IV		53	6.1		267	6.6		46	5.4		100	20.7
V		94	10.2		592	59.2		56	9.5		100	33.8
VI		221	15.2		686	185.4		68	15.1		100	42.8
7.I		306	37.6		249	270.8		71	25.8		100	57.0
II		518	40.1		2244	149.6		86	35.8		100	66.8
III		297	64.5		659	370.4		98	42.2		100	73.6
IV		162	81.0		6806	468.9		100	50.8		100	85.4
V		-	76.8		-	508.0		100	58.1		100	90.2
VI		-	35.8		-	244.7		-	60.1		-	82.8

月半旬	訓子府町											
	寄生虫数						食害程度			寄生株率 (%)		
	成虫			幼虫			本年	前年	平年	本年	前年	平年
	本年	前年	平年	本年	前年	平年						
5.V	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
VI	0	34	0.1	0	0	0.0	0	3	0.1	0	56	0.4
6.I	6	133	0.6	0	0	0.0	1	24	0.5	20	100	2.4
II	5	165	3.0	1	41	0.0	3	25	3.7	28	100	11.2
III	12	238	6.8	4	205	3.3	7	44	7.4	32	100	22.0
IV		255	26.7		1353	23.0		72	20.9		100	59.2
V		98	48.5		2406	93.7		98	29.5		100	77.2
VI		134	58.0		3948	559.5		100	41.5		100	90.0
7.I		175	51.3		2889	1387.9		100	57.2		100	96.4
II		460	64.0		2210	1631.9		100	70.5		100	98.4
III		275	101.2		1964	1837.7		100	81.7		100	100.0
IV		278	71.6		2255	1957.9		100	91.6		100	100.0
V		102	51.1		1844	1751.4		100	94.8		100	99.1
VI		71	23.0		1158	1652.4		100	95.4		100	100.0

注) 25株調査、寄生虫数は抽出3葉あたり、食害程度は全葉。
 平年値は、2008年から2018年の平均。
 -は、倒伏により調査終了。

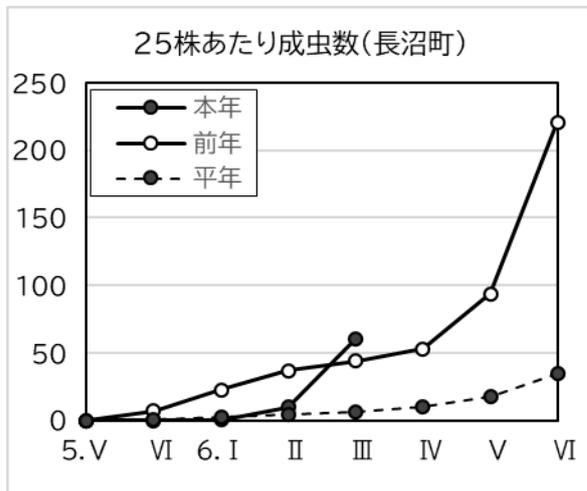


図1. .ネギアザミウマ成虫数の前年との比較(長沼町)

付記

北海道地方 1か月予報
 (6月13日から7月12日までの天候見通し)

令和2年6月11日
 札幌管区气象台発表

<予想される向こう1か月の気候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

北海道日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。北海道オホーツク海側と太平洋側は、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。日照時間は、北海道日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並の確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】 北海道地方	20	30	50
【降水量】 北海道地方	40	30	30
【日照時間】 北海道地方	20	40	40

低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

1週目 北海道地方	10	30	60
2週目 北海道地方日本海側	20	50	30
2週目 北海道地方オホーツク海側	30	50	20
2週目 北海道地方太平洋側	30	50	20
3~4週目 北海道地方	30	30	40

低い 平年並 高い